

1. 教員および授業の概要

① 教員名：張 忠任 (Zhang, Zhongren)

② 担当科目

- ・博士前期課程：社会統計学Ⅰ・Ⅱ、北東アジア専門講義8（北東アジア経済研究）、北東アジア研究指導Ⅰ～Ⅳ
- ・博士後期課程：北東アジア超域研究指導Ⅰ・Ⅱ、特別研究活動

③教員のプロフィール

- ・岡山大学大学院文化科学研究科博士課程修了。
- ・学術博士。経済学・財政学専攻。
- ・中国東北師範大学経済学部専任講師、北方工業大学社会科学学部経済学科長・准教授、中国社会科学院准教授、岡山大学大学院経済研究科客員研究員などを経て、2000年4月に本学に就任。

④属学会

日本財政学会、日本地方財政学会、日本北東アジア学会（理事）、日本経済理論学会、日本経済統計学会、中国『資本論』研究会（理事）、世界政治経済学会（常務理事）

⑤研究領域や関心をもっているテーマ

- ・中日財政の比較研究（政府間財政関係を中心に）
- ・環日本海経済圏問題（図們江下流地域開発を中心に）
- ・価値理論（価値から生産価格への転形問題を中心に）

⑥研究指導方針

北東アジア経済研究を中心に修士論文と博士論文の作成指導を効果的に行う。資料収集、分析手法などについても指導するが、多様な学問的背景を有する研究を提唱し、新たな発見、理論の構築、その学術的・社会的意義を重視する。

⑦指導可能な研究テーマ（あるいは過去（現在）に指導した研究テーマ）

- ・経済開発を中心とする北東アジア経済研究
- ・政府間財政関係を中心とする日中地方財政体制の比較研究
- ・経済統計分析

2. 研究業績リスト(2006年～)

①著書

(1) 『マルクス経済学思想史（日本巻）』（中外マルクス主義経済思想史研究シリーズ5）[中

- 国・上海] 東方出版社、2006年7月(2007年上海財經大学にて著書特等賞受賞)。
- (2) 『数理政治経済学』、[中国・北京] 経済科学出版社、2006年4月。
- (3) 『財税分析数理方法』 [中国・北京]経済科学出版社 2017年11月。

②論文

- (1) 「転形問題の要点と誤解：一つの必要な修正」『清華政治経済学報』第1号 2013年11月。
- (2) “The mutual effects between the fiscal relations of central and local governments and economic growth in post-reform China, *Evolutionary and Institutional Economics Review*, Volume 14, Number 1, 2017年6月。
- (3) 「中国の政府間財政関係と経済成長方式転換」『総合政策論叢』(36)、2018年10月。

3. 主要業績3点とその概要

- ①『現代中国の政府間財政関係』御茶の水書房、2001年12月(2002年藤田賞奨励賞受賞)。

本書は、本人の博士学位論文に基づきこれを発展させたものであり、日本学術振興会の科学研究費補助金を受け公刊された。本書では、建国以来現在に至るまでの中国の政府間財政関係の展開過程とその変貌の特質を解明するものである。

- ②『百年難題の解決—価値から生産価格への転形問題の歴史と研究』、[中国・北京]人民出版社、2004年3月(2011年5月に、世界政治経済学会第6回大会にて、「21世紀世界政治経済学優秀成果賞」を受賞)。

本書は、価値の生産価格への転化という転形問題(The Transformation Problem)を研究史から検討した上で、「総計一致の2命題」が両立できる数学的解決法を提出したものである。全書は9章からなる。

- ③『財税分析数理方法』 [中国・北京]経済科学出版社 2017年11月。

本書は、財税研究に必要な数理分析方法について公式から使い方及び練習問題まで述べている。全書は政府間財政関係の測度、税収分析、財政支出と財政政策、産業連関方法の財政研究の応用などの5章からなる。

4. 学生に対するメッセージ

私たちは、北東アジア経済についての知識や社会に対する深い洞察力を有する学生を送り出すことを目指しています。そのためには、経済を中心とした北東アジアにおける諸問題を解決する力に加え、知識に歴史的深みと国際的広がりを持たせることが必要です。本研究科で学ぶことにより、経済理論を活用し、北東アジア経済の諸様相に目を向け、考察・分析する能力を身につけることができます。皆さん、島根県立大学大学院北東アジア開発研究科で夢を実現しませんか。